

# 幼児教育 三月號附錄

## 全國兒童デーに關する調査報告

昨年十一月帝國教育會主催の全國保育者大會に於て舉行の決議ありて其調査方を本會に託されたる兒童デーに關し本會は直ちに七名の調査委員を囁託し數回審議を遂げた結果左の要項を得ました。

一、名稱 兒童愛護デーと稱すること。

全國一齊になす時は全國兒童愛護デーと稱すること。

二、期日 五月五日を適當と認む。

五月五日は全國何れの地方にても意義ある日で此の日を全國兒童愛護デーとし其地方の狀況によつて五日の一日を以て之れに宛つるも亦其前後二三日を之れに宛つるも隨意としたし、大阪市は五六七日の三日間と定めらるゝやに聞く東京市は四五六の三日間と定む、何れも五日の意義ある日を必ず加へられるやうに致したい。

### 三、方法

(1) ポスター

其地方々々により考案せらるゝが最も適當と考へる、本會及大阪市の分を後に掲げて参考に供します。

ポスターの要件としては、

イ 色彩と圖案とにより人の注意を惹起するもの。

ロ 繪畫を插入する場合には兒童の愛らしさと快感を起さしむるもの。

ハ ポスターの中には必ず記入すべきものは、

其期日、「全國兒童愛護デー」、標語、其日に舉行すべき事項等。

ニ 掲ぐべき場所 町の要所、役場其他の掲示場、停車場、電車、汽船内、湯屋、理髮所、商店、其他人の集まる所等。

寸 九

二尺五寸

子寶はまことの國の寶なり

字は青

白

桃色

五月五日兒童愛護デー

字ハ白

赤

たのもしやつんつるてんのはつ裕

日本幼稚園協會  
東京市保育會  
主催

寸三 五分

こごも宣傳デー

字ハ白

青

字ハ白

十一月六日

赤

白

青  
自 勵 車 宣 傳 (午前)  
兒童愛護講演會  
宣傳の花賣り  
(終日)

催 主  
大 日 大阪 本 阪 市 兒 童 保 育 協 學 研 究 會  
大阪 本 阪 市 兒 童 保 育 協 學 研 究 會  
こども用品研究會

強く育  
てよ  
愛せよ  
敬せよ

赤

(2) 宣傳ビラ

前回本會及大阪市にてなされたるもの次に掲ぐ。

一、各中等學校、小學校、幼稚園等の兒童を通じて家庭に配付す。

二、町の交通頻繁の街路、停車場、其他群集の場所等にて配付す。

三、自働車宣傳の用に供すること。

四、寺院、神社、商店等人の多く集まる所。寄席、芝居、活動寫眞館等にて配布す。

五、ビラは數多き程效力あり。其經費は、

(1) 有志の寄附金による。

(2)

有志の寄附金による。

但此の場合店名等は客とし主客を明らかにすること。商店其他の寄贈となすこと。

講演會

一、兒童愛護の趣旨徹底を計る爲めに各要所の

學校、公會堂、寺院等にて講演會を開くこと。

二、講師は保姆、訓導其他の兒童に趣味を有する方に依頼すること。

力を盡せ 児童擁護!! 四月二十三日

持つべきものは子供なり

父は照り母は涙の雨となり

同じ恵みに育つなでしこ

生き身には飴食あり

乳房といふ天道のお扶持方

頼もしやつんづるてんの初給

子供には菓子や砂糖の甘きより

親のあまさが大毒と知れ

親の名を揚げるも汚するも

子供の育ちのよしわしから

子供は親の生きた鏡

力を盡せ 児童擁護!! 四月二十三日

いし嬉が子でり守おの母

本 日 幼 稚 園 協 會

## コドモ宣傳デー

曾第濟第一蘆難育上勒三九西玉船東平野第一小學校  
 稲二美一池新軒條常家第一小學校  
 嵐第三上福小川中小學第一小學校  
 小野二福小川中小學第一小學校  
 學學學學學學學學  
 校校校校校校校校

主催  
 児童問題講演會會場  
 大阪本阪市兒童保育會  
 大阪コドモ用品研究會  
 大阪兒童協學會

強い子を生み、その子賢く且善良に育てる  
 これが當然であります。今日の子供を見るに、  
 その自由や権利は極端に束縛され、非衛生  
 や不道徳のことが幾らでも放任されて居る  
 ではありませぬか。然るに現今家庭と學  
 校と社會とは子供に對する責任を十分果し  
 つゝあるであります。しかし、社会は子供に對する  
 責任を十分果し、兒童保護團體がこども宣傳  
 デーを主催しましたのも要するに、現今家庭と學  
 校と社會は子供に對する責任を十分果し、兒童保護團體がこども宣傳  
 児童の福利を増進するため、國民動員を希望する  
 志に他ならないのであります。また、國民動員を希望する  
 市民が此舉を賛成し、多大の援助を與へる  
 事を信ずるものであります。

よ タ 強 く 敬 ゼ よ ゼ 愛

## コドモ宣傳デー

大阪のコドモの爲めに  
 設けてほしい事業

- 設けてほしの事業
- 牛乳をこどもの年によつて調合して與へる
- 子供のある家庭を訪問して育児法に就ての注意をする巡回婦
- こどもの歯の病を治したり又豫防したりする小兒歯科院
- こどものうち窮困のものへ食事を與へる
- 事業
- 重病の後のものや轉地を必要とするこどもの爲めの兒童保養所
- 児童専用遊園
- 児童が四季を通じて泳ぐこと出来る水泳館
- 身體の弱い兒童を收容する常設林間學校
- 優秀のこどもを教育する學校
- こども異常兒童を適當に教育する機關
- こどもの虐待を防止する爲めの事業
- 母親の爲めの育兒學校
- 児童研究所

命 生 の モ ド

コドモ育てよ、先づ眞直  
 に、まんまるに

名士醫士にして兒童愛護に同情ある人を依頼すること。

三、要件 講演は通俗的にして然も趣味ある話をして下さる方に依頼したく、活動寫眞、音樂會、學藝會等其の他餘興として適當なるものを加へて來會者の趣味と其數を増すことも一方法である。

(4) 協力を求むべき方面。

- 一、當局者、學務委員、其他有力者の後援を求むること。
- 二、新聞の論説又は記事等により其宣傳の徹底を求むること。
- 三、寺院、教會の説教に兒童愛護の宣傳を求むること。
- 四、教育會、婦人會、青年會、處女會、醫師會等に協力を求むること。
- 五、活動寫眞中に宣傳標語の撮影、子供に關する映畫の插入、説明中に其意味を述べること等。
- 六、芝居の幕間に其廓大されたる宣傳ビラを掲ぐること。
- 七、商店其他の廣告中に「全國兒童愛護デー」及び標語等の插入を依頼すること。

(5) 標語

- 一、本會にて昨年五月用ひたるもの。  
宣傳ビラに掲載した通り。
- 二、大阪市にて募集したるもの。  
愛せよ敬せよ強く育てよ。  
自然と自由は子どもの生命。  
打つな叱るな甘やかすな。  
親は子の友道案内。  
怒つても笑つても見よ子の駒。
- 三、本會にて特に今回この擧の爲めに巖谷小波先生に願ひたるもの。  
「ども育てよ先づ眞直に眞圓い。  
目玉でおどすな笑顔でさせ。」  
「小言の雨は子どもの心をしめらす。  
こどもになつてこどもを愛せよ。  
こどもには示すを一に云ふを一一。」

## 子寶十二句

嚴谷小波

六

子寶は眞の國の寶なり。

箱入にすると子寶蟲が付き。

子寶を龜末にして家が斷え。

新學期升で子寶量つて居。

子寶も研ぎ過ぎると摺り減らし。

氏神へまづ子寶の御吹聽。

### (6) 児童のための講演會

児童に取つては此日は最も感謝すべき日である其感謝の意味により又愛護の情の發露として各所にお伽會を開くことも附帶事業として宣敷かるべし。

### 本會兒童擁護宣傳舉行概要

大正十年四月二十三日

#### 一、自動車宣傳

五臺

午後

自動車に目立ちたる裝飾をなし宣傳の大文字を表はし、市内各所の配付豫定地を巡走しつゝ宣傳せり。

三十五萬枚

二、宣傳ビラ

全市の小學校の児童を通じて其家庭に配布せり。

市内十二ヶ所を選定し保母の手によつて配付せり。

#### 三、講演會

市内八ヶ所の小學校に於て開會せり。（次の廣告を宣傳ビラの裏に印刷したり）

### 兒童保護宣傳大講演會

來聽歎迎

主催日本幼稚園協會

○大正十年四月二十三日(土曜日)午後六時開會

◎本郷區東京女子高等師範學校講堂(本郷區湯島六丁目)

- 一、挨拶
- 二、題未定
- 三、子供に代りて
- 四、題未定

◎神田區千櫻小學校(神田區東松下町五九)

- 一、學校にて傳播する小兒傳染病に就て
- 二、子供の食物
- 三、家庭と社會

◎京橋區尋常小學校(京橋區金六町一七)

- 一、兒童保護に對する家庭の責任
- 二、母と子
- 三、弱き子供の保護

◎下谷區下谷小學校(下谷區車坂町二三)

- 一、子供と食物
- 二、彼等に勝利を與へよ
- 三、題未定

◎深川區明治小學校(深川區萬年町二ノ一七)

東京女高師校長	湯原元一君	後藤新平君	井田哲子女士
東京市長 男爵	栗山重信君	井上秀子女士	一民君
東京女子大學學監	井上秀子女士	江孝之君	江重信君
醫學博士	江孝之君	栗山重信君	井上秀子女士
日本女子大學教授	栗山重信君	江重信君	江孝之君
內務省囑託	江重信君	栗山重信君	江孝之君
東京女高師教授	江孝之君	江重信君	栗山重信君
醫學博士	江重信君	江孝之君	栗山重信君
日本基督教士	江孝之君	江重信君	栗山重信君
女子青年會幹事	江重信君	江孝之君	江重信君
教育博物館長	江孝之君	江重信君	江重信君

一、児童保護

文部省事務官

乗 杉 嘉

壽君

一、児童教育と犯罪  
一、児童の保護増進につき

内務省技師

マクドナルド君

原 佐 藏君

◎赤坂區仲之町小學校（赤坂區檜町一四）

一、子供は大切なもの  
一、親のつとめ  
一、小兒の保護及養育に就て

青山女學院教頭  
東京高師教授  
醫 學 士

塚 本 は ま 子 女 史  
佐々木 吉三郎君  
永 井 一 夫 君

◎四谷區第二小學校（四谷區左門町七六）

一、學童の保護に就て  
一、兒童と親の愛  
一、子供は大切なもの

醫 學 博 士  
文部省督學官  
青山女學院教頭

太 田 孝 之 君  
塚 原 政 次 君  
塚 本 は ま 子 女 史

◎芝區神明小學校（芝區神明町二二）

一、小兒の傳染病  
一、習ひ性となる  
一、家庭と教育

醫 學 博 士  
自由學園家庭科長  
東京女高師教授

豊 福 環 君  
松 岡 久 子 女 史  
下 田 次 郎 君

以 上

四、新聞社は之れを贊助し記事論説に掲載せり。

尙仁丹の如き一頁を費して標語を掲げたり。

五、市内各小學校、當局者、内務省、社會局等後援者となり協力せられたり。  
六、經費 本會にて支出したる總經費七百五拾圓、宣傳ビラは寄贈によれり、自働車三臺の外は寄附によれり。

講演會費一ヶ所貳拾圓講師の謝儀一人拾圓

閉會數日後に助力せられた人の集會を求めて慰勞をかね報告意見の交換等をなすため簡単なる茶話會を開きたり。

### 大阪市ごとも宣傳デー概要

#### 一、自動車宣傳

自動車五臺に「こども宣傳デー」と大書して重なる街路を通行し各重要地點に於て宣傳ビラを配布す。午前九時出發正午に至る。

電鐵部二臺の自動車同行して児童電車事故防止の宣傳ビラを配布す。列外に日本児童協會ローマ字俱樂部酒井公聲堂等の自動車同行す。

#### 二、宣傳ビラ

三種十五萬枚を印刷し市内各要所に於て配布し新聞紙に插入し或は小學校児童をして持ち歸らしむ。電鐵部も宣傳ビラを配布し尙全市十五萬の小學児童全部に宣傳の葉を配布せり。

#### 三、宣傳ポスター

三千枚印刷し全市の湯屋、理髪店、及街路に掲示せり。

#### 四、花賣り

五萬個を市内の重なる婦人團體、児童團體の好意に依つて一個十錢にて販賣す。

#### 五、お伽會

十二ヶ所に於て午後二時より小學校児童の爲にお伽會を催す。

#### 六、児童問題講演會

十五ヶ所に於て午後七時より講演會を開く。其の講師は市内に於ける醫師、教育家、児童愛護者、五十名に達す。

#### 七、教會の説教

市内各基督教會に於ては兒童愛護の精神を鼓吹する説教をなす由。

### 八、各新聞論説

各新聞に於て夫々或は論説を揚げ或は特別號を出し特別廣告掲載さるゝ由。

### 九、大商店の店飾

大商店食堂等にては店内若はショウ、ウインドウに愛護花を以て裝飾をなすもの多し。

### 經費概算

#### 一、總經費

内  
　　譯

宣傳ビラ印刷費(十五萬枚)	一〇〇〇圓
ボスター印刷費(一千枚)	一一二〇〇圓
自 動 車 貸	一〇〇〇〇圓
雜費會場借入費其他	一一〇〇〇圓

#### 備

お伽會講演講師ニ對シテ謝禮ヲ要セズ。

辨當等ハ各自ノ自辨トス。

徽章販賣費用ハ其賣上金ヨリ支辨シ尙殘餘金アル場合ニハコードモ愛護ニ關スル適當ナル事業ヲ行フ。